

## 日本短角種産肉能力（直接法）検定成績

（畜試 肉牛部）

### 1. 背景とねらい

日本短角種の産肉能力等経済性の向上を図るため、計画交配により優れた能力を備えた種雄牛を生産確保し、その効率的利用により集団的な育種改良を推進することを目的とした日本短角種集団育種推進事業が展開されている。

同事業で実施した平成3年度直接検定成績を改良指導のための参考に供する。

### 2. 技術の内容

- 1) 本年度検定頭数は第1期20頭、第2期14頭の計34頭であった。検定終了後の供用頭数は23頭で、供用率67.6%であった。
- 2) 平均1日当たり増体量は第1期1.25kg、第2期1.26kgであった。
- 3) 選抜指数値、検定成績、血統、体型等を比較検討し、間接検定実施予定牛5頭を選抜した。琴星、松花、藤王、琴山および崎居である。
- 4) さらに、笹藤、若光、海柱、花光および藤玉2の5頭を現場間接検定実施予定牛として選抜した。

### 3. 指導上の留意点

#### 1) 直接検定方法

##### 期 間

第1期 単房 平成3年10月29日～平成4年3月17日（140日）

第2期 群房 平成3年11月12日～平成4年3月31日（140日）

##### 飼 料

濃厚飼料 産肉能力検定飼料（TDN73.0% DCP10.5% DM87.6%）

ペレットメタボリック体重当たり 6.3%制限

粗飼料 乾草飽食（第1期；TDN49.6% DCP 4.5% DM85.0%）

（第2期；TDN38.8% DCP 4.0% DM81.0%）

##### 飼 養

単房 運動場に1日2時間

群飼 （4～5頭1群）ブロードベントドア使用

#### 2) 選抜指数式

$$I = 21.749 (DG) - 0.254 \times (\text{皮下脂肪厚}) + 10$$

皮下脂肪厚：皮下脂肪厚8箇所合計（超音波診断装置）

#### 4. 関連試験課題名

日本短角種産肉能力検定（直接法）

#### 5. 参考資料

- 1) 平成4年度日本短角種産肉能力検定検討会資料（1992）
- 2) 平成4年度試験成績概要書（1993）

表1 選抜牛の概要

検定 No.	名 号	父	母方祖父	産 地	D G (kg)	皮下脂 肪厚 (mm)	間検	現場 間検
1	琴 星	琴頬1019	高 波	玉山村	1.26	75	○	
4	福 桜	福 波	松 藤	川井村	0.92	80		
5	松 花	幸 花	松 藤	川井村	1.35	80	○	
6	藤 王	松 藤	山 裕	玉山村	1.30	78	○	
8	笹 藤	笹 豊	清 藤	釜石市	1.28	82		○
10	笹 波	笹 豊	琴菱 908	釜石市	1.14	86		
11	力 頬	琴頬1019	清 房	岩泉町	1.16	85		
12	波 若	福撫1007	波 清	山形村	1.41	110		
14	大 崎	宝 錦	大 幸	安代町	1.29	89		
15	琴 山	琴 房	山 富	安代町	1.40	73	○	
16	滝昭 91009	笹 川	川 久	滝沢村	1.13	93		
17	若 光	若 花	雲 光	川井村	1.33	89		○
18	琴 清	琴 房	泉 山	安代町	1.19	76		
19	海 柱	琴 房	勝 富	安代町	1.41	87		○
22	豊 秋	琴秋1565	雲 豊 68	岩泉町	1.21	79		
23	若 錦	若 里	笹 豊	岩泉町	1.10	85		
24	秋 久	琴秋1565	川 久	岩泉町	1.14	88		
25	崎 居	崎 橋	清向 875	山形村	1.35	81	○	
27	松 星	若 里	嵐有 877	岩泉町	1.24	110		
28	花 光	幸 花	波 花	川井村	1.37	92		○
32	若 高	若 里	笹 泉	岩泉町	1.18	95		
33	若 幸	若 里	波 清	岩泉町	1.30	106		
34	藤玉 2	崎 橋	若 波	山形村	1.40	92		○